（様式第２号）

地域振興推進費事業計画・自己評価書　（実績）

令和5年4月17日

諏訪地域振興局

提出区分	実績	整理番号	6	課題区分	C
横断的な課題	諏訪湖を活かしたまちづくり（諏訪湖創生ビジョン）				
地域重点政策	諏訪湖を活かしたまちづくり（諏訪湖創生ビジョン）				

実施機関	諏訪地域振興局	担当課	所属	環境課
事業名	水辺の昆虫モニタリングによる生態系保全手法の検討事業		電話	0266-57-2952（内線2541）
			E-mail	suwachi-kankyo@pref.nagano.lg.jp

事業の概要等	目的（目指す姿）	諏訪湖創生ビジョンの指標水生動物に位置付けられている絶滅危惧種のメガネサナエ（トンボ）のモニタリングにより、諏訪湖周辺での生息状況を把握するとともに、地域での啓発により、生態系保全、諏訪湖及び流入河川の環境保全に向けた意識を醸成する。
	現状と課題	諏訪湖創生ビジョンの指標水生動物であり、絶滅危惧種のメガネサナエの生息状況を継続して把握する必要がある。令和3年度は羽化殻調査を3回、成虫調査を3回実施し、7月中下旬に木柱での羽化が多いことが示唆され、また、羽化後は流入河川の宮川においてテリトリーを形成していることが確認された。 これらの生態について地域住民を中心に周知することで、地域全体でメガネサナエを保全する気運を醸成し、諏訪湖及び流入河川の環境保全を図る必要がある。
	内容（変更後の内容）	流入河川におけるメガネサナエの成虫調査及び諏訪湖湖岸の羽化殻調査を継続し生息状況を把握しつつ、リーフレット等を製作、活用して昨年度検討したメガネサナエ保全の手法とともに地域に周知、啓発して諏訪湖及び流入河川の環境保全を図る。保全に当たっては、まずはメガネサナエという絶滅危惧種がいること、それがどのようなものなのか知っていただくことが必要であり、メガネサナエの特徴、生態等について記載したリーフレット等により、諏訪湖周及び宮川流域の小学校を中心に環境教育の一環として普及啓発を行う。
	事業期間	令和４年７月　～　令和５年２月

事業費等　（単位：円）

事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考
モニタリング調査	成虫調査3回、羽化殻調査3回（うち2回は専門家同行なし）の実施	9,840	専門家旅費（（運賃1,360円＋日当1,100円）×4回＝9,840円）
地域への啓発方法・内容の検討	地域への啓発方法・内容の検討会１回の実施	2,460	専門家旅費（（運賃1,360円＋日当1,100円）×1回＝2,460円）
地域への啓発活動	掲示板の作成	93,500	掲示板本体66,000円 データ作成費27,500
地域への啓発活動	リーフレットの作成 地域での啓発活動	85,250	リーフレット（27.5円/枚×1,000枚×1.1） データ作成費55,000円
合　計		191,050	

指標及び達成状況

成果指標	目標値	成果	達成状況
メガネサナエ成虫調査、羽化殻調査の実施	３回	６回	○ 達成 ◉ 一部達成 ○ 未達成
リーフレットの配布	１７校	今後配布予定	

事業実績・成果	令和４年７月12日（火）、７月26日（火）及び８月５日（金）に、諏訪湖の湖岸で羽化殻調査を実施し、合計75の羽化殻を確認した。羽化殻は８月上旬になると少なくなる傾向があり、主に7月中下旬にかけて羽化していると推察された。また、羽化殻は桟橋の木柱で多く観察される等、保全に資する情報が得られた。 ８月23日（火）、９月５日（月）及び９月26日（月）に宮川沿い約1kmを往復してモニタリングを実施し、成虫の生息数に関わる情報が得られた。 リーフレット及び掲示板の記載事項等に係る検討・調整や、小中学校への配布に向けた教育委員会との調整に時間がかかり、作成したリーフレット等による啓発活動は令和５年度に行うこととなった。
今後の方向性	モニタリングを継続的に実施し、保全のための手法を検討するとともに、リーフレットの配布等保全に向けた啓発を行い、ビジョンに掲げる「多種多様な生き物を育む湖」の実現を目指す。